



# 上尾ロータリークラブ



2020-2021年度R.I.テーマ  
ロータリーは機会の扉を開く



2020-2021年度 宇多村海児会長

第2847回 例会  
2020.10.15

会長あいさつ

週報 No.2152  
発行 2020年10月2日  
2020-2021年度  
会長 宇多村海児  
幹事 深澤 圭司  
副会長 斎藤 修弘  
副幹事 長沼 大策  
編集責任者・公共イメージ向上委員会  
委員長 坂 佳三

ゲスト  
2020 学年度  
ロータリー米山記念奨学生  
トウ シンゴウ  
修 針叶 さん

行事予定

- 10月29日 クラブフォーラム  
会員増強維持意見交換会
- 11月5日 会員卓話 大塚崇行会員  
「津波記念碑建立事業」
- 11月15日 地区大会
- 11月19日 会員卓話 大木保司会員  
「国際奉仕事業について」
- 11月26日 武重秀雄会員  
米寿祝

皆さん、こんにちは。本日もお越しいただきありがとうございます。近況の報告になります。第5グループもいよいよガバナー公式訪問が始まり、すでに訪問を終えたクラブができています。その情報が各クラブの会長・幹事さんからクラブでできていますが、中里ガバナーは例会後のクラブ協議会での指摘が非常に鋭く、細部にも突っ込んでくるようです。例えばクラブの定款・細則について、改訂されるべき内容は改訂されているかなど、年度計画書を見て指摘されるそうなので、これから私と深澤幹事との間でもう一度すべてを見直しておこうと再読しています。中里ガバナーはポール・ハリスのお墓参りにも行かれたほど、ロータリーについて実務・習慣・しきたりなどに精通していらっしゃるので1月の公式訪問にむけて準備していきたいと思っています。皆さま方におかれましても、ご指導ご鞭撻をお願いしたいと思います。

本日の例会主題は部門セミナー報告になります。どうぞよろしくお願いたします。

幹事報告

深澤 圭司幹事

◇先週行われた理事会でクールビズについてという質問がありました。当クラブでは5月1日～10月末までの期間をクールビズといたします。  
◇新会員の歓迎会を11月5日(木) 18:30～より、須田直前会長の新店THE CHOICEで開催いたします。後ほど親睦活動委員会からご案内させていただきます。皆さまご参加のほどお願いいたします。  
◇10月5日、地区大会記念ゴルフが栃木県・プレステージカントリークラブで開催され、宇多村会長、斎藤副会長、大木崇寛会員、私の4人で参加してきました。参加人数223名中、宇多村会長が66位、斎藤副会長が138位、大木崇寛会員が147位でした。私の順位は報告しなくてもいいかなと思いますので割愛させていただきます。



2020-2021年度 宇多村海児会長

## ロータリー米山記念奨学生 あいさつ

2020学年度 ロータリー米山記念奨学生 修針叶さん

皆さん、こんにちは。先週、幸手中央RC・小林さん(地区・米山記念奨学生学友選考委員会)に連れられ、幸手RCさんで卓話をしてきました。緊張しましたが、小林さんもクラブの皆さんも優しくしたので無事に卓話ができたと思います。人前で話すことは苦手でしたが、最近だんだん慣れてきました。良い経験になったと思います。ありがとうございます。



2020-2021年度 宇多村海児会長

綱領)は、各クラブで毎月1回唱和しましょうと、私がガバナーだった時(2009-2010年度)に提案し、それが今も続いています。職業奉仕部門からは以上です。

## 社会奉仕部門 尾花正明社会奉仕副委員長

芳賀委員長の都合がつかないということで9月12日に奉仕プロジェクト3部門合同セミナーに参加させていただきました。ZOOM、リモートによる参加でしたが、パソコンで頭の部分のみが画面に映るようにセットしました。



2020-2021年度 宇多村海児会長

本年度の社会奉仕部門の活動ポイントは、1カ月ほど前に配布された「かわら版」の発行と、各クラブの奉仕活動(継続事業)の断捨離とのことでした。

地域社会奉仕では、ペットボトルキャップ事業のクラブ返還と、点字名刺の普及活動、腎・アイバンクの普及活動でした。  
ペットボトルキャップ回収は、地区内のあるクラブが実施していたもので、これをポリオ根絶に運動するために、ポリオ・プラス委員会で行うのか、社会奉仕部門で行うか議論がありました。最終的に社会奉仕部門が担当になり、誰が回収するかとなった際に、東部のリサイクル・廃品回収事業を営んでいる方が積極的に手を挙げていただき地区での回収事業を担っていただくことになりました。ところがRID2770は埼玉県南東=県の半分のエリアがあるので、1社で回っていくと燃料代にもならないと悲鳴が上がりました。この回収業者の社内からロータリーに対する不満がもれてきたので、濱野年度には、この会社に感謝状を贈呈させていただいたことがあります。その後、もう1社が参画してきたのですが、採算が合わないとなり、最終的には地区からクラブに返還するという形です。当クラブでは齋藤博重会員や久保田会員の事業所がありますので、ご相談させていただいて、もし回収して下さるところが見つければ続けられればいいかなと思います。特に地区の補助金事業(関口年度)でボックスを購入し設置した実績があるので、上尾地域での課題であろうと個人的に思っています。

## 例会主題

### 部門セミナー報告④

職業奉仕部門 大塚信郎職業奉仕委員長

職業奉仕部門のセミナーはZOOMで行われ、あいにくPCの不具合で音声がよく聞こえませんでした。さて職業奉仕はロータリーに於いて金看板と言われることはご存じだと思います。「四つのテスト」は職業奉仕が担当しています。四つのテスト創作者はハーバート J. テーラーで、人の上に立つ人物でした。この人の会社でまず「四つのテスト」を運用し、後にロータリーが採用しました。以下、ロータリーの友2003年10月号再掲載の抜萃です。



2020-2021年度 宇多村海児会長

「ロータリーの目的」(以前は、ロータリーの

## ロータリー ROTARY CLUB OF AGEE

次に腎・アイバンクについてです。当クラブでは一時7割ほどの会員に登録していただいていたのですが、入会5~6年のロータリー歴が浅い方や新会員の方は腎・アイバンクの登録をされていないと思います。ぜひ登録をお願いしたいと思います。登録をしても全員が角膜の提供をするものではありません。もしご本人が亡くなられた時に家族が了解しない限り提供にはなりません。また登録する際に「親族優先」と入れることもできます。本日、ちょうど冊子が配布されましたので、冊子をご覧いただき、ぜひ全員登録で取り組んでいただければと思います。

それから**ブライダル委員会**についてです。私が社会奉仕部門委員長を担当した頃、45~50歳くらいの男性登録者が大勢いて、女性は30歳代の方が来ていました。年齢制限はなく、男女の結婚適齢期の方が大勢いて、また第2の人生スタートを求められる方もいるでしょうし、やや年上でも未婚の方のマッチング事業として整理したいところですが、まずは登録者を増やす取り組みをしたいと思っています。今年も、登録者カードを作成しようと活動を進めているようです。現在、当クラブでも未婚の方がおられるので積極的に申込をしていただきたいと思います。ブライダル委員会にはコーディネーターの方がいて、写真を見ながら、「この方と面会してみたい」と希望を出すと、相手の方にアプローチしてみて、次のステップに進みます。大塚パストガバナーの奥様がコーディネーターをされて、先日パストの奥様がお話を聞いたらとても美しい女性が登録されているそうなので、早稲勝ちかもしれません。クラブのメンバー、お知り合い、会社の従業員の方などブライダル委員会に積極的に登録をお願いしたいと思います。

時間がありますので、社会奉仕を实践するうえでの基礎となるお話をさせていただこうと思います。

いちばんの基礎では1923年、セントルイス国際大会での「社会奉仕に関する声明」という4項目の決議があります。これが社会奉仕をするうえで重要な指標になります。このうちの2項目を紹介します。1つ目は「地域社会が本当に必要とするプロジェクトである事」です。地域が求めている、自己満足のような奉仕はしない、ということ

です。2つ目は「毎年異なった新しいプロジェクトを発掘する事」です。そのためにはトンボの眼と、アリの歩みで、地域に自分たちが密着しながら、必要とされる課題を常に頭に置きながら事業を組み立てなければならない、ということです。この2つが大きな声明ですが、もう1つ付け足すと、「ロータリークラブは仕事(事業)の重複を避けるようにする必要がある、総じて他に機関があり、それによって既に立派に行われている事業に乗り出すことをしてはならない」とあります。新たな奉仕活動を自分たちで考え、その奉仕活動が軌道に乗ったら、他の団体に活動を委譲し、そうするとまた新たな奉仕活動を考える時間ができます、ということです。ただし10年一律で同じ事業をしていると、なかなか委譲できない事業もあります。岡野パスト会長が立ち上げた障がい者作品展即売会なども、本来なら他の障がい者団体や社会福祉協議会などに委譲できるのですが、それはなかなかできません。従って当クラブが、30年対応しています。それから献血運動は単独で行っているため継続していいことで、たとえばライオンズクラブさんと合同で行うのは良くありません。それ以外、私たちが行っている事業は、できれば他の団体に委譲して、次の新しい奉仕活動を展開していくことが理想になります。

さて、**RIとクラブの関係について**もお話しします。RIの会員とは「ロータリークラブ」であってロータリアン個人ではありません。「地区」はRIとロータリアン個人ではあるものの、RIは各クラブの必要な奉仕活動について常に提案しなければいけないと声明があります。そうすると多数の事業の提案がくると思います。その中で、自分のクラブはどの事業が適しているか、身の丈にあった事業を取捨選択しなければなりません。これを踏まえないとどのクラブも同じようなことをやってみようこととなります。上尾市内には3クラブあるので、それぞれが同じことをしないような調整が必要で、前年度、大塚崇行会員が社会奉仕部門委員長だった時に『社会奉仕アンケート報告書』を、私が部門委員長だった時から6年ぶりに作っています。ここには地区内の社会奉仕事業が掲載されているので、どのような事業なら当クラブは取り組めるか、また上尾西RCさんと上尾北RC

さんの事業を知って重複しないことが一目瞭然になります。この報告書は今後の事業のための参考にしたいと思っています。

それから1992年に「社会奉仕に関する声明」があります。この中に、地域社会における奉仕の機会を定期的に調査し、各クラブ会員に地域のニーズを検討させること。また、適切であれば地元プロジェクトを委譲すること、そうすればロータリークラブは新プロジェクトに携わることが可能となる、とあります。

ポール・ハリス語録の中に—公共事業を数々実施しているにせよ、ほとんど実施してないにせよ、ロータリーが役に立つことのできる大きな独自の分野があるのは明らかです。私たちの血管に赤い血が流れているように、地元地域社会の幸福に無関心ではいられないし、活動領域内にいる人々のために力を貸すことにいとわないというのには至極もったもなことです。(1912年9月) —とあります。RCは1905年にでき、LCは1917年にできています。すでに100年前にこのようにあり、「プロジェクトは時代とともに変化するべきである」と言われているわけです。何が求められているか、我々がキャッチして積み上げていかないと、その団体の存在価値はなくなっていくと思います。私たちの身体に流れている血液は、心臓を通して常に新しい血液になり循環しています。そこで今年度のセミナーでは新会員のための第1部が開催されました。新会員の皆さんの意見を聞きながらそれを反映し、社会奉仕活動に邁進しよ

うということが今回のセミナーのポイントだったと思っています。

最後にロータリーは**アイサーブ (I serve)**、ライオンズは**ウイサーブ (We serve)**という言葉についてお話しします。RCは「私は奉仕する」、LCは「私たちは奉仕する」ですが、最近のロータリーの活動はウイサーブの方が多いかないという気が私はしています。原点は違うのですが、もちろん皆でやることもいいですが、要はロータリアン一人一人が、独りになったときにどのような行動ができるかということを考えていかなければなりません。大塚崇行会員は会社が所属する全優石という団体で、東日本大震災の被災地に津波記憶石プロジェクトを行っています。藤村会員は新型コロナの対応に、ご自身の病院を提供しています。須田会員はコロナ禍の飲食店を応援するためAGETAKEという事業を行っています。このように貢献していくことが、公共イメージのアップにつながります。私は、関口和夫年度(2013年)、地区補助金事業の対象になった「打ち水大作戦」という活動にならぬ、酷暑となった今夏、自分の会社の前で打ち水をしました。水を撒くと確かに涼しく感じられ、通行人も楽だと言う顔をしていました。このように地域の中で、今の時期に何が奉仕活動として求められているかを研究しながら、今年度、社会奉仕を続けていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。

**大塚職業奉仕委員長、尾花社会奉仕副委員長、部門セミナー報告、ありがとうございました。**

## スマイル

武重会員 11月誕生日(米寿)、ありがとうございます。  
大木保司会員 結婚祝い ありがとう!  
久保田会員 9月12日の結婚祝い、ありがとうございました。

宇多村会長/深澤幹事/斎藤副会長/長沼副幹事/  
岡野会員/大塚信郎会員/村岡会員/尾花会員/  
齋藤哲雄会員/須田会員/小田切会員/丹井会員/  
関口良康会員/山崎会員

出席率	
会員数	37
出席数	20
欠席数	17
54.05%	

